ニッケル地金が安値

1年9カ月ぶり　需給緩和観測強まる

ステンレス鋼の原料となる非鉄金属、ニッケル地金の国際価格が1年9カ月ぶりの安値を付けた。欧州債務不安で投機資金が流出したうえ、新規の鉱山開発や中国のステンレスメーカーの減産で需給緩和観測が強まった。国内のステンレス業界では再編の動きが広がっているが、ニッケル安が続けばステンレス市況が一段と悪化する可能性がある。

ステンレスに先安観

指標となるロンドン金属取引所（LME）の3カ月先物公示価格は15日時点で1トン1万7550ドルと8月から3割程度下がった。一方、銅地金やアルミニウム地金の8月初め以降の下落率は2割にとどまる。

ニッケルはブラジルやニューカレドニア、マダガスカルで新規の大型鉱山開発が進んでいる。来年から供給が本格化する見通しだ。一方、中国や韓国では自動車や家電の需要減速に伴い、ステンレス在庫が増加。現地のメーカーが生産調整に乗り出した結果、ニッケルの需要は鈍っている。

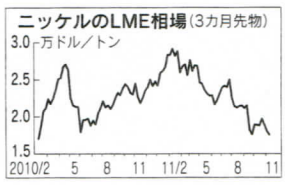
住友金属鉱山によると、ニッケルは今年に1万1千トンの供給過剰となり、来年の需給ギャップは5万4千トンに拡大する見通しだ。「他の非鉄金属に比べて市場規模が小さく、投機資金流出の影響が大きい」（商社）との指摘もある。

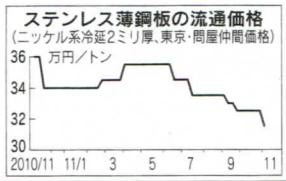
「生産コストを考えればそろそろ底値」（製錬会社）との声もあるが、国内外のステンレスメーカーは買い控え姿勢を強めている。ニッケル系ステンレス冷延薄鋼板（2ミリ厚）の東京・問屋仲間価格は1トン30万～33万円と5月比で4万円以上下落した。アジア市場価格は1トン2900～3000ドルと5月比で15%安い。先安観はなお強い。

「2004年に平均85%程度だった世界のステンレス工場稼働率は60～70%に落ちている」（日新製鋼の三喜俊典社長）。

新日鉄住金ステンレスは汎用の冷延鋼板を来年4月までに15～20%減産する方針だが、タイの洪水などで輸出がさらに減れば「1月から減産する可能性もある」という。

ステンレス国内3位メーカーの日新製鋼は同5位の日本金属工業との経営統合に動き出した。ニッケルとステンレスの市況悪化が続けば、ステンレスメーカーの再編と設備廃棄に弾みがつく公算が大きい。





ココア、国際価格下落

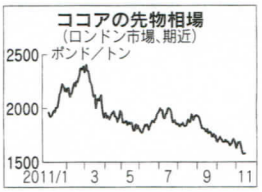
2年4カ月ぶり安値

チョコレートの原料となるココア（カカオ豆）の国際価格が2年4カ月ぶりの安値を付けた。指標となるロンドン市場の先物（期近）は15日時点で1トン1579ポンドと、3月の高値から3割超下落した。西アフリカの主産国が豊作となり、供給過剰観測が強まった。

国際ココア機関によると、2010～11年度（10年10月～11年9月）の生産量はガーナが前年度比6割増の101万トン、コートジボワールが2割増の147万トンとなる見込み。主産国が好天に恵まれ、前年度に10万2000トンの供給不足だった世界需給バランスは32万5000トンの供給過多に転じるとみられる。

財政危機問題がギリシャからイタリアやスペインに波及し、世界のココア市場の約4割を占める欧州の需要が減るとの見方が強まったことも影響している。最大生産国のコートジボワールが大統領選を巡る混乱から一時、禁輸措置をとったため、ココアの国際価格は3月に1トン2400ドルを超える高値を付けた。だが政争が収束し、需給逼迫の観測は後退している。

食品加工会社などの間では一時、需要家にコスト上昇分を転嫁する機運が高まったが、その後国際相場が下落し、ほとんど浸透しなかった。国際相場下落が続けば国内価格に影響が広がる可能性もある。



西アフリカ産地で豊作

中国産野菜が一転下落

ネギ卸値7割安　栽培面積拡大で

高騰が続いた中国産野菜が一転下落、ショウガやニンニクも安い。東京都中央卸売市場の中国産ネギの卸値は11月上旬時点で1キロ48円。前年同期は153円だった。ショウガは11月上旬時点で220円と前年同期比1割安、ニンニクは174円と4割安い。

中国では昨年の高騰で栽培面積を増やした（農畜産業振興機構）ため、野菜の生産が増加している。一方、日本では天候回復で国産野菜の入荷が潤沢になっており、中国産野菜の需要は伸び悩んでいる。

一部の品目は投機を目的とした中国の買いが収まったのも影響している。ニンニクは昨年、不作を見込んだ地元商社などの買い付けで中国内の取引価格が「過去15年間で最高値」（輸入商社）に跳ね上がった。だが中国政府の金融引き締めや産地の好天を背景に、投機熱は収まっている。

値下がりは長く続かないとの見方もある。中国では「健康志向の高まりで最高値」（輸入商社）に伴い『ゴボウ茶』が売れている」（農畜産業振興機構）といい、消費が増えている野菜も多い。

中国にとっては取引先が広がったため、「以前よりも強気の価格を提示する産地もある」（輸入商社）という。

ニンニクの店頭価格は今のところ平年並みだ（都内のスーパー）

揺れる新米流通 ⑤

被害 依然重く

原発事故による被害に苦闘する福島。16日には県内の農家が保管するコメから国の暫定規制値（1キログラム500ベクレル）を超える放射性セシウムが検出された。県の本調査をクリアし、流通市場では安心感が広がりつつあった矢先だけに関係者が受けた衝撃は大きい。

米の販売を始めたイトーヨーカ堂。10月半ばに10店舗でスタートし「2千袋が1週間で販売できた。売れ行きは計画通り」という。

ただ、首都圏スーパーでの福島産米の取り扱いは今も、いなげやなど5社程度にとどまる。コメ卸の担当者は「新潟のコシヒカリや

福島県産米を応援する動きも出てきた（イトーヨーカドー・アリオ北砂店）

水稲収穫量の上位5道県

（2010年産、単位トン）

①北海道		590,100
②新潟		569,100
③秋田		440,300
④福島		439,100
⑤茨城		392,800

小売り・外食は対応割れる

食産業も同じだ。昨年は全幅が他産地よりも小さいうえ、ホールディングスは、昨年は福島県産米を一部で使っていたが、当面は新米の採用を見送っている。同社商品部は「今後も他産地と価格などを比べながら採用も検討する」と説明する。

首都圏の卸会社23社は「ふくしま米元気プロジェクト」を立ち上げ、取引先に採用を働き掛ける。消費者にはプレゼント企画やP

プロジェクトでは、JA全農福島が放射性物質の不検出を確認したコメが販売される。全農福島は検出地域のコメと不検出のコメを分けて管理している。福島県は放射性物質調査も政府指示の2倍の地点で実施し、他産地より詳細な数値を公表している。全農福島の太田達也米穀部次長は「データを開示し安全性が確保されていることを地道に訴える」と話す。

新米から1キログラム当たり10円引き下げた。

福島のコメには再び強い逆風が吹く可能性が高いが、同県郡山市のコメ卸、飯島米穀の飯島成一社長は「安全証明書の添付など、できるかぎりの努力をするしかない」と訴える。政府を中心に検査体制の強化や

塩ビ協「国内供給不足せず」

東ソーの工場火災

塩化ビニール樹脂メーカーが加盟する塩ビ工業・環境協会（東京・中央）は16日の定例記者会見で、13日に起きた東ソー南陽事業所（山口県周南市）の火災について「塩ビ樹脂の国内供給が不足することはない」（宮島正紀副会長＝信越化学取締役）との見方を示した。在庫水準が高く、アジア向け輸出も伸びないことを根拠に挙げた。

同協会が16日発表した統計によると、10月末の塩ビ樹脂の国内在庫は10万8981トンと前年同月末比20・6%多い。生産量は12万3261トンと前年同月比17・9%減ったが、円高で輸出が25・3%減ったのが影響した。

塩ビ協の宮島副会長は「事故後、樹脂や塩ビモノマーの調達を巡る混乱は起きていない」と語った。中原茂明会長（トクヤマ会長）もアジア市場で「クリスマス向けの玩具用素材などの手当てが低調」なため、不足する状況にはないとした。

あきたこまち前払い金16%高

JA全農あきた

JA全農あきた（秋田市）は16日、2011年産米を出荷した生産者に支払う概算金（前払い金）を全銘柄で60キロあたり1800円追加すると発表した。主力銘柄のあきたこまちは現行に比べて16%高い60キロ1万2800円となる。

秋田県内の水稲作況は99と全国の101を下回る。生産者が在庫を多めに確保しているとみられ、全農の集荷率は前年より2割以上少ない。全農あきたは「当初計画より上回る概算金額を上積みした。他業者との集荷競争に対抗したい」としている。追加支払いは24日をメドに実施する。

コンテナ輸送10月は3.8%減

アジア発米国向け

米業調査会社のゼポスがまとめたアジア（10カ国・地域対象）発米国向けの海上コンテナ輸送によると、10月の輸送量は13万9241TEU（TEUは20フィートコンテナ換算）と前年同月比3・8%減った。減少は5カ月連続。9月（7・4%減）より減少幅は縮小したが、足元も前年割れが続いているもようだ。

積み地別でみると、全体の6割を占める中国が67万4360TEUと6・5%減った。家具や家電、衣類など個人消費関連の輸送が伸び悩んだ。日本発は1・5%増の5万5671TEUと5カ月ぶりのプラス。主力の自動車部品などの輸送が伸びたと見られる。

国際価格、6月比38%安

■ガリウム　レアメタル（希少金属）の一種で化合物半導体などの原料になるガリウムの国際価格が下落している。現在は1キログラム6200～6700ドルと直近のピークの6月より38%安い。半導体を搭載する携帯電話の出荷は堅調だが、液晶テレビやパソコンの販売が伸び悩み、発光ダイオード（LED）素材向けの需要が低調だ。

日本経済新聞社
日経テレコン21

易　16日
（費税込み）
肉
数　5160頭＞
3　4　5
上場416頭
1258　1572　2273　一
1138　1299　1785　一
1105　1421　一　一
921　一　一　一
824　744　一　一
930　1075　一　一
上場320頭
950　1358　1916　一
832　1485　一　一
1006　1347　1354　一
1126　1172　一　一
783　1321　一　一
843　996　一　一
上中並　397　565　434　31　63.0
上中並　368　326　551　506　64.6
上中並　441　386　929　854　75.4
等外　355　38　657　711　777　783　79.5
等外　231　372　297　8　583　518　975　3.9
上場254頭　840　1082　8000
◇宇都宮＝統伸　399　415　571　653　610　271.7
上中並　387　406　102
上中並　518　402　361　41　31
等外　361　281　31
◇茨城＝上がる　上場534頭
上中並　589　464　408　208
上中並　369　432　392　191
上中並　294　387　361　77
等外　191　369　310　58
◇群馬＝もちあい　上場983頭
極上　408　408　1
上中並　378　407　211　470
上中並　346　415　395　167
並　262　399　556　187
等外　105　371　297　114
◇さいたま＝統伸　上場209頭
極上　456　456　471　1
上中並　389　422　27
上中並　357　401　63　45
並　284　413　360　45
等外　231　400　334　34
上中並　397　565　434　31　63.0
上中並　368　326　551　506　64.6
上中並　441　386　929　854　75.4
等外　355　38　657　711　777　783　79.5
等外　231　372　297　8　583　518　975　3.9
上場254頭　840　1082　8000
◇宇都宮＝統伸　399　415　571　653　610　271.7
上中並　387　406　102
上中並　518　402　361　41　31
等外　361　281　31
◇茨城＝上がる　上場534頭
上中並　589　464　408　208
上中並　369　432　392　191
上中並　294　387　361　77
等外　191　369　310　58
◇群馬＝もちあい　上場983頭
極上　408　408　1
上中並　378　407　211　470
上中並　346　415　395　167
並　262　399　556　187
等外　105　371　297　114
◇さいたま＝統伸　上場209頭
極上　456　456　471　1
上中並　389　422　27
上中並　357　401　63　45
並　284　413　360　45
等外　231　400　334　34
サザエ　佐賀　945　557
◇下関・唐戸＝もちあい
（消費税抜き）　高値　安値
トラフグ・活・大　内海　16000　8000
野菜（中央卸売市場）
◇東京・大田＝もちあい　入荷1906トン
（都調べ、総計4534トン、☆は相対取引り）
魚介（中央卸売市場）
◇東京・築地＝小動き　高値　中値
（都調べ、取扱数量1406トン、☆は相対取引り）
マグロ　青森　11550　7350
キハダ・冷凍　遠洋　1050　735
メバチ・冷凍　遠洋　3150　788
インドマグロ・冷凍　遠洋　5565　945
メジマグロ　各地　1785　630
本メジ　各地　2100　1050
ミナミメジ　各地　3675　1313
クロメジ　各地　368　242
ビンナガ　高知　788　546
メカジキ　遠洋　3150　1575
ハモ　北海道　1050　315
ヒラメ　長崎　735　525
赤ガレイ　各地　735　420
アジ　宮城　735　263
サバ　各地　1050　525
サンマ　各地　1890　1260
ニシン　各地　735　525
ベニザケ　北海道　1838　1155
マダラ　北海道　2415　2100
ネギ　各地　4725　3150
ミカン　熊本　3675　一
ミカン　各地　4725　3150
ミカン　静岡　7350　3255
リンゴ・ふじ　青森　6300　3465
リンゴ・王林　青森　6300　3990
シラフランス　山形　1890　1785
カキ・富有　福岡　5250　一
カキ・富有　各地　8400　5040
カキ・平核無　新潟　4200　2730
カキ・次郎　静岡　5250　一
イチゴ・とちおとめ　栃木　578　462
イチゴ・あまおう　福岡　840　693
イチゴ・紅ほっぺ　静岡　630　一
メロン・アールス　静岡　2100　1103
メロン・アールス　各地　5775　4935
◇大阪・本場＝もちあい　入荷366トン
（大阪市調べ、☆は相対取引り）　高値　中値
果実（中央卸売市場）
◇東京・大田＝もちあい　入荷634トン
（都調べ、総計1280トン、☆は相対取引り）
アジア市況　16日
◇シンガポール（15日）
▽石油製品（現物、FOB、1バレル、ドル）＝ロイター
ナフサ　94.73―94.83
ガソリン　109.20―109.30
ケロシン　130.76―131.16
ガスオイル　132.15―132.55
C重油（硫黄分3.5%、1トン、ドル）　712―712.1
◇マレーシア
▽すず（KLTM、現物、1キロ、ドル）　21.400
石油化学製品
▽スチレンモノマー（運賃込み、東アジア地区、1トン、ドル）　1300―1340